CG-WLAP54AG

取扱説明書

5.2GHzを屋外で使用することは電波法により禁止されています。

IEEE802.11aは屋外で使用することはできませんのでご注意ください。

PN Y613-03162-00 Rev.C

安全にお使いいただくために　必ずお守りください

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。

	感電の可能性が想定されることを示します。		発煙または発火の可能性が想定されることを示します。
	けがを負う可能性が想定されることを示します。		

障害や事故の発生を防止するための、その他の注意事項は次のマークで表しています。

	電源プラグを抜く 電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。

⚠警告

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。

異物は入れない　水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万が一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください（弊社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください）。

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。

交流 100V の電源でお使いください

異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

添付の専用 AC アダプタ以外で使用しない

火災や感電の原因となります。必ず、添付の専用 AC アダプタを使用してください。

専用 AC アダプタのコードを傷つけない

火災や感電の原因となります。

電源コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度 90%以下の環境でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

本製品は一般使用を目的とした製品です

本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

日本国内でご使用ください

本製品は日本国内仕様となっておりますので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書にしたがってください）

電波に関する注意

本製品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。
また設置の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

- ・心臓ペースメーカーをご使用の近くで、本製品をご使用にならないでください。
  心臓ペースメーカーに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- ・医療機器の近くで、本製品をご使用にならないでください。
  医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- ・電子レンジの近くで、本製品をご使用にならないでください。
  電子レンジによって、本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に､近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一､この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には､本製品の周波数を変更して、混信を回避してください。
3. その他､この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合などは本製品の使用を停止し、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関する注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため､電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる。
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
・IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので､無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で､お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

はじめに

このたびは、「CG-WLAP54AG」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでも参照していただけるように、大切に保管してください。

「CG-WLAP54AG」に関する最新情報（ファームウェアのバージョンアップ情報など）は、弊社のホームページでお知らせします。
無線LANに関する情報や活用例なども紹介しておりますので、ぜひ弊社のホームページをご覧ください。

コレガのホームページ　http://www.corega.co.jp/

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

●記号について

注意!	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。
メモ	補足事項や、参考となる情報を説明しています。

●表記について

本製品	CG-WLAP54AG を指します。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。

●イラスト、画面について

本文中に記載の画面やイラストは、実際と多少異なることがあります。

作業の流れ

本書では、本製品を使って無線LANのネットワークを構築するまでの作業をPARTに分けて説明しています。
各PARTでの作業は次のとおりです。順番に読んで、作業を進めてください。

PART1

まず準備が必要

① 添付品の確認
② 本製品について
本製品を使って構築できるネットワーク例や、無線LAN環境で必要なセキュリティ対策についてご確認ください。
③ 本製品の特長、各部の名称と役割の確認
④本製品を接続して起動しよう
パソコンと本製品を無線で接続して起動します。

PART2

アクセスポイントの設定をする

① 設定用パソコンを準備しよう
本製品と無線で接続するパソコンや、本製品の設定を行うときに必要なパソコンを準備してください。
② 本製品の設定をするときは
本製品の設定を行いたいときは、設定ユーティリティを使って行います。

PART2までの作業が終われば、本製品を使った無線LANでのネットワーク構築は完了です。
PART3以降は、必要に応じて読んでください。

PART3

トラブルや疑問があったら

PART2までの作業で、無線LANへの接続ができなかった場合や、本製品の操作でわからないことがあった場合には、このPARTを読んで解決方法を探してください。

PART4

設定ユーティリティを見てみよう

本製品は、内蔵の設定ユーティリティによって、詳細な設定ができます。このPARTでは、設定ユーティリティで設定できる項目について説明しています。

付　録

付録

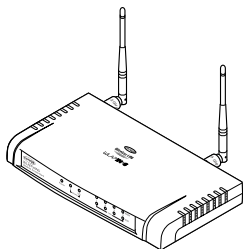
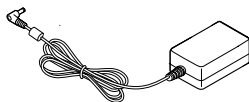
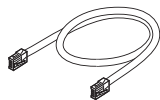
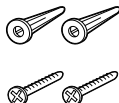
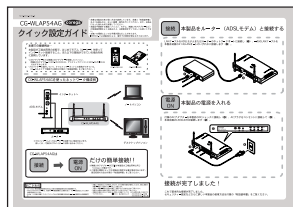
目次

PART3 トラブルや疑問があったら 25

PART4 設定ユーティリティを見てみよう 34

付録 50

添付品の内容を確認しよう

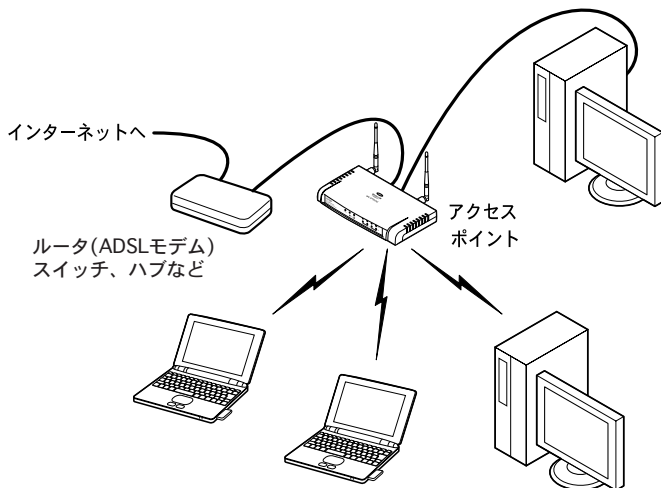
本製品のパッケージには、以下のものが同梱されています（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります）。
お買い上げ商品についてご確認いただき、万が一不足するものがございましたら、お手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

□ CG-WLAP54AG　本体
□ AC アダプタ
□ AC ケーブル
□ LAN ケーブル 1.8m（1 本）
□壁掛けキット
□取扱説明書（本書）
□クイック設定ガイド
□製品保証書
□電波注意ラベル

本製品について

本製品は、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11b 規格に対応したワイヤレス（無線LAN ）通信のアクセスポイントです。IEEE802.11a、IEEE802.11gまたはIEEE802.11b 規格に対応した無線LAN アダプタと組み合わせることで、無線LANのネットワークを構築することができます。また、本製品はLAN ポート（RJ-45）を持っていますので、下図のような無線LAN環境と有線LAN 環境を統合したネットワークを構築することができます。

1

メモ　無線LAN の通信モードには、「インフラストラクチャーモード（Infrastructure mode ）」と「アドホックモード（AdHoc mode ）」の2 種類がありますが、下図のように本製品と組み合わせてネットワークを構築する場合には、「インフラストラクチャーモード」でネットワークを構築します。

注意!　本製品は、アドホックモードでのネットワーク構築にはお使いになれません。

■本製品を使ったネットワーク構築例

■相互接続性

・本製品は、各社の無線LAN 機器との間で相互接続性を確保していますが、個別製品の接続可否については、お使いの機器の製造・販売元にお問い合わせください。また、コレガのホームページでは、本製品との接続が確認された動作検証表を随時公開していますので、あわせてご覧ください。

メモ　一部機能が制限されたり、接続できない場合があります。

■無線LANのセキュリティ対策について

無線LANでは電波を使って通信を行うため、電波が届く範囲であれば、通信内容を傍受されたり、不正侵入されたりする恐れがあります。このようなことがないように、次のようなセキュリティ対策を行うことをおすすめします。設定方法など詳しくは、「PART2 アクセスポイントの設定をする」「本製品の設定をしよう」（P.19）、または「PART4 設定ユーティリティを見てみよう」「Webブラウザでの設定項目について」（P.35）を参照してください。

・**通信相手を識別、限定する**
　ESSIDの設定を変更する
　フィルタリング設定をする
・**通信内容を暗号化する**
　WEP（暗号キー）を設定する
　WPA（暗号キー）を設定する

項目	出荷時設定
ESSID	corega
フィルタリング設定	無効
WEP設定（暗号化）	OFF
WPA設定（暗号化）	OFF

メモ　本製品の工場出荷時の設定は、右表のとおりです。

製品の特長をとらえよう

本製品には、次のような機能があります。

・**IEEE802.11a規格、IEEE802.11g規格を使った、54Mbps対応の高速無線LAN**
IEEE802.11a、IEEE802.11gは、最大54Mbpsの通信が可能な高速無線方式です。

・**IEEE802.11b互換**
IEEE802.11g対応の製品は、IEEE802.11bとの高い互換性を維持しているので、IEEE802.11b対応の機器とも接続可能です。

・**設定ユーティリティ添付**
内蔵の設定ユーティリティを使って簡単に設定可能です。

・**無線アンテナ搭載により受信感度がアップ**

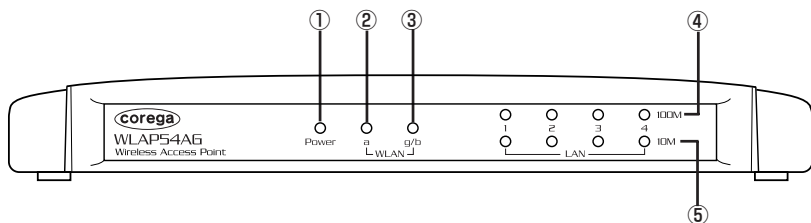
・**WDS搭載**
アクセスポイント同士の通信（WDS）が可能なので無線通信範囲が広がります。

・**64/128/152bits WEP対応**
WEPに対応しており、セキュリティも安心。

・**WPA、無線パーティーションなどの高度なセキュリティに対応**

・**Super A/G対応**
「Super A/G」を搭載した無線機器との通信時にデータの圧縮をさせ、スループット値を向上させます。

各部の名称と機能を覚えよう

■本体前面

① Power LED（緑）

本製品の電源が入っているときに、緑色に点灯します。

② a WLAN LED（緑）

本製品が IEEE802.11a で無線通信をしているときに、緑色に点灯します。

③ b/g WLAN LED（緑）

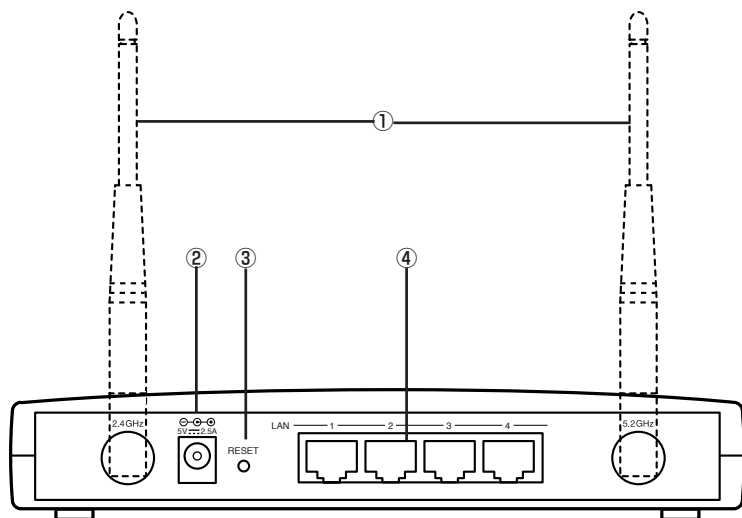
本製品がIEEE802.11bまたはIEEE802.11gで無線通信をしているときに、緑色に点灯します。

④ 100M LAN LED（緑）

本体背面のLANポートの状態が表示されます。100Mで通信している場合は100Mが、10Mで通信している場合は10Mが下記のように動作します。

点灯：接続先の機器とリンクが確立されている状態です。
点滅：接続先の機器とデータ通信中です。
消灯：接続先の機器とリンクが確立されていない状態です。

100Mbps/10Mbpsの切り替えは、オートネゴシエーション機能によって自動的に行われます。

■本体背面

①アンテナ

電波の送受信部です。左右のアンテナの周波数帯域が異なっているので、それぞれ正しい位置に取り付ける必要があります。無線接続する場合は、立ててください。別売の弊社オプショナルアンテナを接続することもできます。

② DC ジャック

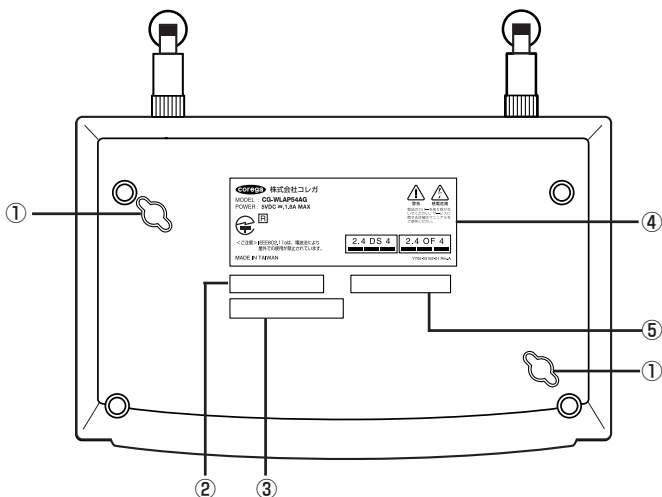
添付の専用 AC アダプタの DC プラグを接続するためのコネクタです。

③ RESET スイッチ

本製品の設定内容を工場出荷時の状態に戻す場合に使用します。操作方法については、「本製品を工場出荷時の状態に戻したい」(P.33) を参照してください。RESET スイッチを使用して工場出荷時の状態に戻すと設定内容が失われますので操作方法をよくお読みになって使用してください。

④ LAN ポート

ADSL モデムやパソコンを接続するためのポートです。 Auto MDI/MDI-X 機能を搭載していますのでケーブルの属性を選びません。
また、100Mbps/10Mbps の切り替えは、オートネゴシエーション機能によって自動的に行われます。

■本体底面

①壁掛け用穴

添付の壁掛けキットを使って、本製品を壁に掛けて使うときに使用します。

② MAC アドレスラベル

本製品の MAC アドレスが記載されています。

③シリアル番号シール

本製品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、ユーザサポートへの問い合わせの際に必要となります。

④警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されておりますので､必ずお読みください。

⑤ファームウェアラベル

本製品をご購入時のファームウェアバージョンが記載されています。

メモ　上の図で 2.4 DS 4 2.4 OF 4 は次の内容を意味しています。

使用周波数帯域	2.4GHz 帯
伝送方式	DS-SS 方式 /OFDM 方式
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」帯域を回避可能

本製品を接続して起動しよう

■本製品を設置する場所について

本書冒頭の「安全にお使いいただくために」をお読みになり、使用時の注意についてご確認ください。

●設置に適した場所

・水平で落下の恐れがない場所（机の上など）
・風通しのよい涼しい場所

●設置に適さない場所

・直射日光が当たる場所
・暖房器具の近くなど
・高温多湿でホコリの多い場所
・パソコンやモデムなど、発熱する機器の上

■本製品の電源を入れるには

●本製品の電源の取り方

本製品の電源は、たこ足配線などを避け、他の機器と別系統で取るようにしてください。必ず付属の専用ACアダプタを使用し、AC100Vの電源コンセントに接続してください。それ以外のACアダプタやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。

●本製品の電源の入れ方 / 切り方

AC ケーブルと AC アダプタを接続します。本製品背面の DC ジャックに AC アダプタの DC プラグを接続し、ACケーブルのACプラグを電源コンセントに差し込むと電源が入ります。ACケーブルのAC プラグを電源コンセントから抜くと電源が切れます。

注意!
・本製品には電源スイッチがありません。AC プラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。
・ACケーブルのACプラグを電源コンセントに差し込んだままDCプラグを抜かないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。

■本製品にルータ（ADSL モデム）やハブなどを接続する

メモ　企業内で使用する場合は、本製品との間にルータやレイヤー３スイッチなどを挟んでいない個所に、設定用パソコンを接続してください。一般のご家庭など、ルータが存在しないか、もしくはインターネット接続のためのルータだけが存在する環境では、考慮する必要はありません。

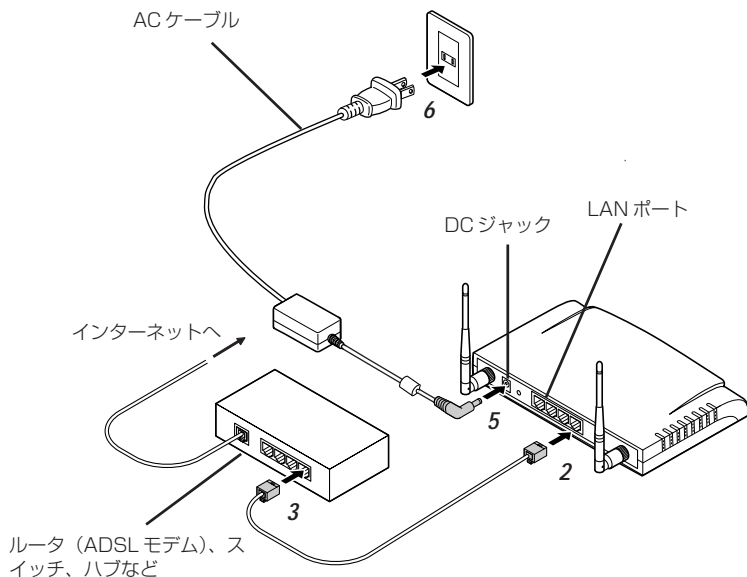
1　本製品、ルータ（ADSLモデム）、ハブ、パソコンなどネットワーク接続する機器の電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。

2　本製品背面のLAN ポートに添付のLANケーブルを接続します。

3　ルータ（ADSLモデム）、ハブのLANポートにLANケーブルのもう一方を接続します。

4　ルータ（ADSLモデム）、ハブの電源を入れます。

5　本製品背面のDCジャックにACアダプタのDCプラグを接続します。

6　ACケーブルの一方をACアダプタに、もう一方をコンセントに接続します。
本製品の電源が入り、本製品前面のPower LEDとLAN LED（100Mまたは10M）が点灯します。

設定用パソコンを準備しよう

無線LANを使って本製品と接続する機器のうち、1台のパソコンを本製品の設定用パソコンとして準備してください。

■設定用パソコンの構成

本製品の設定を行うためには、次の条件を満たすパソコンが必要です。

・IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11bのいずれかに準拠した無線LANアダプタが装備されている
・TCP/IPが組み込まれている
・Microsoft Internet Explorer 5.5以降がインストールされている

メモ　無線LANアダプタの取り付け方法や設定方法についての詳細は、無線LANアダプタに付属の取扱説明書を参照してください。

■設定用パソコンのTCP/IPの設定を確認する

本製品の設定を行う場合は、設定用パソコンのTCP/IP設定が以下のように設定されていることを確認してください。

IPアドレス　　：192.168.1.1～192.168.1.254の範囲のIPアドレス
　　　　　　　　（ただし、192.168.1.230を除く）
サブネットマスク：255.255.255.0

メモ　パソコンのIPアドレスの調べ方がわからない場合は、「PART3 トラブルや疑問があったら」「パソコンのネットワーク設定を調べたい」（P.29）を参照してください。

注意!
・すでに「192.168.1.XXX」以外のネットワークが構築されている場合、本製品の設定を行うためには、本製品と設定用パソコンで「192.168.1.XXX」のIPアドレスを持つ最小限のネットワークを構築する必要があります。設定用パソコンのIPアドレスを上記のように変更してください。なお、本製品の設定を行わないパソコンについては、IPアドレスを変更する必要はありません（本製品のIPアドレスと既存のネットワークとが異なっていても、無線LANへの接続は可能です）。
・**本製品の工場出荷時のIPアドレスは、192.168.1.230です。**これと同じIPアドレスを持つ機器が存在する場合は、本製品の設定が完了するまで該当する機器の電源を切っておくか、LANから切り離しておいてください。
・本書では、設定用パソコンのIPアドレスを以下に設定したものとして説明しています。設定の際には実際の値に読み替えてください。

IPアドレス　　：192.168.1.3

サブネットマスク：255.255.255.0

メモ　TCP/IPの組み込み方法や設定方法についての詳細は、無線LANアダプタに付属の取扱説明書、または各OSの説明書を参照してください。

■ Windows XP/2000 の場合

注意! Windows XP や Windows 2000 では、「コンピューターの管理者」や「Administrator」、または同等の権限を持つユーザ名で設定用パソコンにログオンしてください。ユーザ権限については、OS の取扱説明書を参照してください。

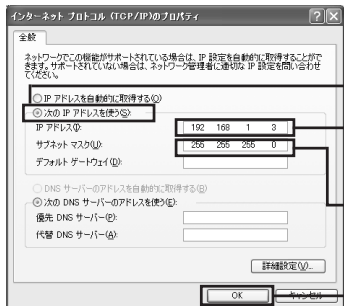
1 「スタート」−「コントロールパネル」をクリックします。
(Windows 2000の場合は、「スタート」−「設定」−「コントロールパネル」をクリックします。)

2 「コントロールパネル」から「ネットワークとインターネット接続」−「ネットワーク接続」をクリックします。
(Windows 2000の場合は、「コントロールパネル」にある「ネットワーク接続」をダブルクリックします。)

メモ Windows XPで「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。

3 「ローカル エリア接続」を右クリックし、メニュから「プロパティ」を選択します。

4 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

5 「次のIPアドレスを使う」を選択し、次のようにIPアドレスとサブネットマスクの設定をして[OK]をクリックします。

6 「ローカル エリア接続のプロパティ」画面で、[OK]をクリックします。

7 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動します。
メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

設定用パソコンのネットワーク設定はこれで完了です。次に「本製品の設定をしよう」（P.19）に進んでください。

■ Windows Me/98 の場合

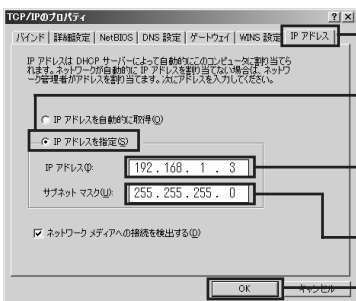
ここでは例としてWindows Meを使用しています。Windows 98をご使用の場合も手順は同様です。

1 「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。

メモ Windows Meで「ネットワーク」アイコンが表示されない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。

2 「コントロールパネル」にある「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

3 「TCP/IP －>××××××（ご使用のネットワークアダプタ名が表示されます。）」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

4 「IPアドレス」タブを選択し、次のようにIPアドレスとサブネットマスクの設定をします。

5 「ネットワーク」画面の、[OK]をクリックします。

メモ WindowsのOS用ディスクを入れてください、という旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがって操作してください。
再起動を促すメッセージが表示されたら再起動します。

設定用パソコンのネットワーク設定はこれで完了です。次に「本製品の設定をしよう」（P.19）に進んでください。

■パソコンと本製品を無線で接続する

パソコンの電源を入れて、パソコンに取り付けた無線LANアダプタの設定を以下のように変更し、本製品とのワイヤレス接続を開始します。なお、設定方法は、お使いのOSのバージョンや無線LANアダプタによって異なります。
設定の方法については、パソコンに取り付けた無線アダプタの取扱説明書をご覧ください。

項目名	設定値	説明
通信モード	インフラストラクチャー（Infrastructure）モード	無線LANには、通信モードが2つあります。本製品で無線LANに接続するときには、「インフラストラクチャー（Infrastructure）」モードにします。
ESSID	corega	無線LANに接続する機器を識別する名前です。「SSID」と呼ばれることもあります。
チャンネル	802.11a:34 802.11g/b;6	使用する電波の周波数（無線チャンネル）です。
WEP（暗号化）	OFF	通信データを暗号化するための暗号キーです。
WPA（暗号化）	OFF	通信データを暗号化するための暗号キーです。一定時間ごとに自動的に変更されるのでWEPよりもさらに安全性が高くなります。

2

本製品の設定をしよう

本製品と設定用パソコンを無線で接続した後は、下記の手順で設定ユーティリティを起動してみてください。正しく接続できている場合は、設定ユーティリティが表示されます。
本製品の設定はWebブラウザで行います。WebブラウザにはInternet Explorer 5.5以降をご利用ください。これ以外のWebブラウザでは、正常に設定が行えない可能性があります。

■設定ユーティリティを開く

注意!
・設定用パソコンでウイルス駆除ソフト、ファイアーウォールソフトなどのセキュリティソフトが稼働していると、本製品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティソフトを停止させて本製品の設定を行い、設定作業が終了してから再度稼働させてください。セキュリティソフトの停止、稼働の方法は、セキュリティソフトの取扱説明書を参照してください。
・Webブラウザでの設定時には、設定ユーティリティを素早く切り替えないでください。素早いクリックによるページの切り替えは、誤動作の原因となります。十分な時間間隔を置いてマウスをクリックし、設定操作を行ってください。
万が一、本製品にアクセスできなくなった場合は、「PART3 トラブルや疑問があったら」「本製品の設定ユーティリティが表示されない」（P.26）を参照してください。

1 本製品に接続したパソコンで、Internet Explorerを起動します。

2 アドレス入力欄に「192.168.1.230」と入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。

3　「ネットワークパスワードの入力」画面が表示されます。ユーザー名に「root」を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

4　設定ユーティリティが起動します。

注意! Web ブラウザに、「オフライン」「プロキシサーバ」などの設定を行っている場合、本製品の設定ユーティリティが表示されないことがあります。その場合は、「PART3 トラブルや疑問があったら」「本製品の設定ユーティリティが表示されない」（P.26）を参照してください。

●うまく接続できない場合は

ここまでの設定でうまく接続ができない場合は、次の点を確認してください。

・TCP/IP は正しく設定されているか？
・ESSID や通信モードは正しく設定されているか？（無線LAN アダプタから接続している場合）
・本製品と、通信相手となるパソコンは、通信可能な距離に設置されているか？（無線LAN アダプタから接続している場合）

詳しくは、「STEP3 トラブルや疑問があったら」（P.25）を参照してください。また、お使いの無線 LAN アダプタの取扱説明書も参照してください。

■基本的な設定をする（ESSID の変更）

設定ユーティリティが表示された場合は、設定用パソコンと本製品が無線で正しく接続できています。このまま本製品の設定を変更しなくてもお使いになれますが、無線LANでの安全なネットワーク構築のためにもセキュリティ設定を行うことをおすすめします。ここでは、セキュリティ設定の一つとして、ESSID の変更方法について説明します。

メモ　ESSID 以外のセキュリティ設定も必要に応じて行うようにしてください。

● ESSID（Extended Service Set IDentifier）とは

無線LANに接続する機器を識別する名前です。SSIDと呼ばれることもあります。同じESSIDを持つ無線LAN機器同士でしか通信できないため、第三者から想像されにくいESSIDを設定することにより、外部から不正侵入される危険が減少します。また、ESSIDを設定していないと無線LANでネットワーク接続することができません。本製品の工場出荷時は「corega」に設定されています。

● ESSIDを変更する

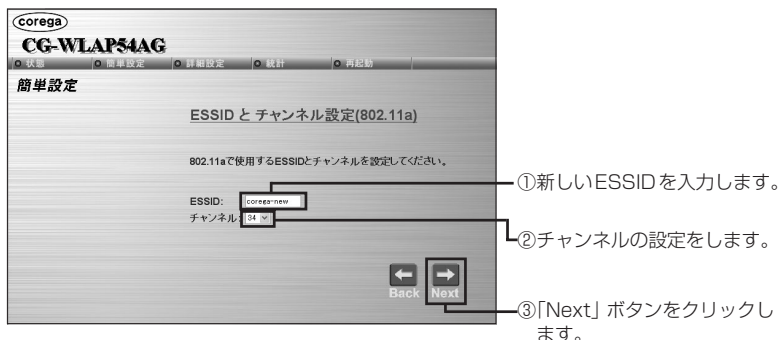
本製品の設定ユーティリティを使って、ESSIDを変更します。新たに設定したESSIDは、無線LANに接続するすべてのパソコン（無線LANアダプタ）にも設定する必要があります。設定した内容を忘れないように、作業を始める前に、下の記入欄に新しいESSIDを正確にメモしておくことをおすすめします。

新しいESSID　：

・ESSIDは、最大32文字までの、半角英数文字および半角記号の組み合わせで作成します（大文字と小文字の区別はありません）。
・使用できる半角記号は、次のとおりです。

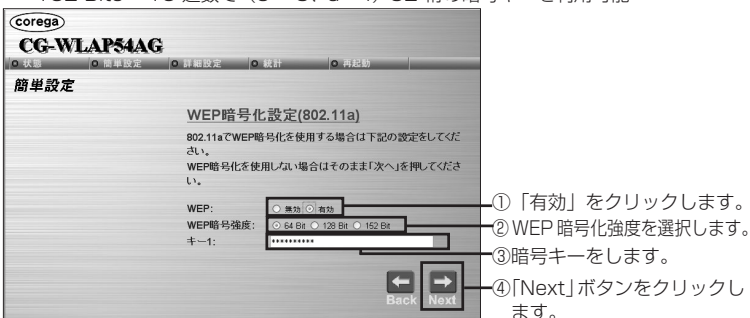
! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ { ¦ } ˜

1　「設定ユーティリティを開く」（P.19）の手順で設定ユーティリティを起動します。

2　「簡単設定」をクリックし、画面中の「Next」をクリックします。本製品に接続しているパソコン（無線LANアダプタ）の規格（802.11aまたは802.11b/g）に応じて「ESSID」の入力欄に新しいESSIDを入力し、チャンネルの設定をします。続いて「Next」ボタンをクリックします。ここでは例として、新しいESSIDを「corega-new」に設定します。

注意!　本製品のESSIDを変更すると、設定に使用したパソコンを含めて、一時的に、無線接続しているすべてのパソコンからネットワークへの接続ができなくなります。ネットワークに接続するためには、無線接続しているすべてのパソコン（無線LANアダプタ）に同じESSIDを設定してください。

3 続いてWEPの設定を行います。WEPの「有効」をクリックしてから「64Bits」「128Bits」「152Bits」の中から選択し、「キー1」の入力欄に直接入力します。
WEPの設定をしない場合は「Next」ボタンをクリックします。

メモ WEP キーは、通信内容（データ）を保護するための暗号です。WEP によって通信内容を暗号化すると、仮に通信データを傍受された場合でも、通信内容の復元を容易に行うことができなくなります。本製品は、「64Bits」「128Bits」「152Bits」に対応しています。

- 64 Bits：16 進数で（0～9、a～f）10 桁の暗号キーを利用可能
- 128 Bits： 16 進数で（0～9、a～f）26 桁の暗号キーを利用可能
- 152 Bits： 16 進数で（0～9、a～f）32 桁の暗号キーを利用可能

4 「簡単設定の終了」という表示が出たら、「Reboot」ボタンをクリックします。

5 本製品と接続するすべてのパソコン（無線LANアダプタ）のESSIDを、本製品に設定したESSIDに変更します。

メモ パソコン（無線 LAN アダプタ）の ESSID の設定方法については、無線 LAN アダプタの取扱説明書を参照してください。

6 本製品を再起動して設定を反映させてください。

ESSIDを変更した後、ネットワークに接続できることを確認してください。うまく接続できない場合は、ESSID の入力を間違えていないか、または正しく設定されているかを確認してください。

無線LANに接続できたら

接続および設定が終わったら、目的に応じて進んでください。

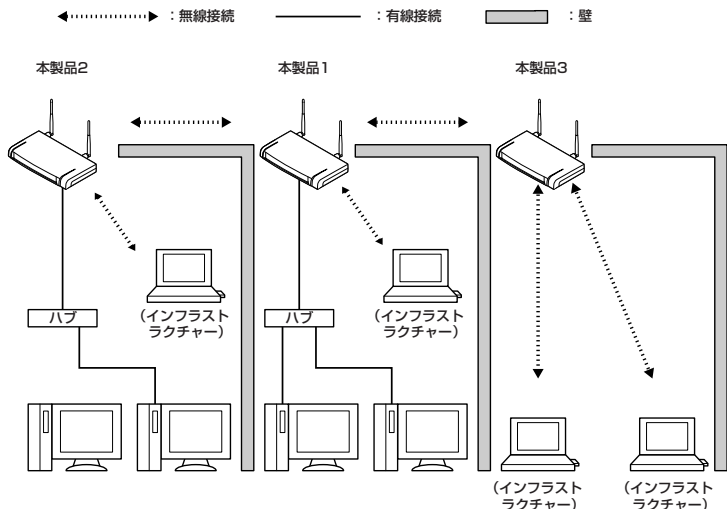
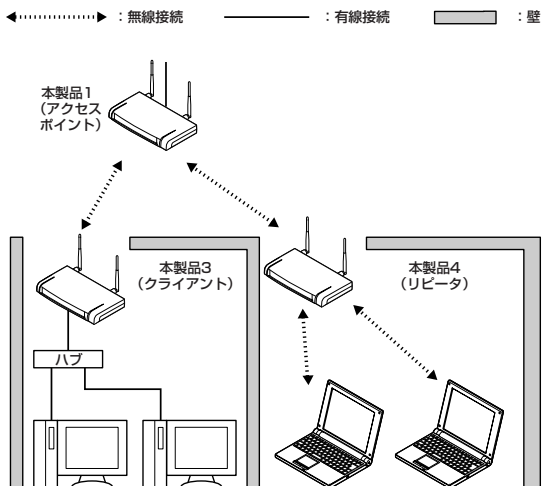
- **インターネットなどに接続できるか確認する**
  本製品のLANポートに接続したルータやハブを経由して、インターネットなどに接続できる環境の場合は、無線LANに接続しているパソコンからインターネットに接続できるかを確認してください。
  本製品とパソコンが正しく無線で接続されているにもかかわらず、うまくインターネットに接続できない場合は、本製品に接続している各機器の取扱説明書を参照してください。

- **設定用パソコン以外に接続したい機器を接続する**
  設定用パソコンとして接続したパソコン以外にも、無線LANに接続したいパソコンなどがある場合は、無線LANアダプタの取扱説明書を参照して、パソコン（無線LANアダプタ）の設定をしてください。本製品の設定は必要ありません。

- **セキュリティの設定を強化する**
  無線LANでは電波を使って通信を行うため、電波が届く範囲であれば、外部から通信を傍受されたり、ネットワークへ不正侵入されたりする恐れがあります。本製品には無線LANを安心してご利用いただくために、ESSIDのほかにも、「WEP」「WPA」「MACアドレスフィルタリング」「パスワード」などのセキュリティ設定ができます。設定の詳細については、「PART4 設定ユーティリティを見てみよう」「Webブラウザでの設定項目について」（P.35）を参照してください。

本製品の通信モードには「アクセスポイント」モード、「LAN間接続モード」、「リピーターモード」、「クライアントモード」の４種類があります。

モード	説明
アクセスポイントモード	本製品と無線LANアダプタを無線で通信します。 ※無線LANアダプタはインフラストラクチャー（Infrastructure）モードに設定してください。
LAN間接続モード	アクセスポイントモードで設定した本製品同士を無線で通信させることができます。接続先の本製品のMACアドレスを入力してください。 ※接続可能台数は最高8台までです。
リピータモード	電波が届きにくい場合でも、「リピータモード」に設定した本製品を設置して電波を中継させて、通信することができます。接続先の本製品のMACアドレスを入力してください。
クライアントモード	本製品をパソコンに接続して、無線クライアントとして使用することができます。

●「LAN 間接続モード」
本製品を接続した有線 LAN 同士を無線で接続できます。本製品は全部で 8 台まで接続できますが、インフラストラクチャーモードとの接続はできません。

●「リピータモード」
電波が届きにくい場所でも、「リピータモード」に設定した本製品を設置して電波を中継させることで、通信が可能になります。本製品は最大で 8 台まで接続できますが、アクセスポイントとして使用している場合はリピータモード同士での接続はできません。

PART3 トラブルや疑問があったら

本製品を使っていて「困ったな」「うまく動かない…」と思ったとき、疑問があったときは、このPART で解決方法を探してください。

解決のステップ

①マニュアルを確認する。管理者に確認する

それでも解決しないときは…

②この PART の Q&A を確認する
＜トラブルは？＞
本製品の設定ユーティリティが表示されない
無線 LAN アダプタを取り付けたパソコンからネットワークに接続できない
本製品のパスワードを忘れた
ファームウェアの更新に失敗した
パソコンのネットワーク設定を調べたい
本製品のパスワードを変更したい
最新のファームウェアを入手して更新したい
本製品を再起動したい
本製品を工場出荷時の状態に戻したい

それでも解決しないときは…

③コレガのホームページの情報を活用する

それでも解決しないときは…

④それでも解決しなければ、サポート窓口に問い合わせてみる

3

取扱説明書や契約書を再確認する。管理者に確認する

本書以外にも無線LANアダプタ、パソコンに添付の取扱説明書をお手元にご用意ください。また、ルータやモデムなどの他のネットワーク機器の取扱説明書もご用意ください。ネットワークにつながらない原因は複雑なため、本製品の設定が正しくても、他の設定が間違っていたり、外部の装置の問題で正しくつながらないこともあります。なお、企業でお使いの方はネットワークの設定がオフィスによって決められていることがあります。接続できない場合はネットワーク管理部門や部内のネットワーク管理者などに確認してください。

■本製品の設定ユーティリティが表示されない

● 設定用パソコンのネットワーク設定は正しくできていますか？

「PART2 アクセスポイントの設定をする」「設定用パソコンのTCP/IPの設定を確認する」（P.16）を参照して、パソコンにTCP/IPがインストールされているか、IPアドレスなどTCP/IPの設定が正しくできているか、確認してください。

● パソコンに無線LANアダプタのドライバーや設定用ソフトウェアが正しくインストールされていますか？

無線 LAN アダプタに添付のマニュアルを参照して、ドライバーや設定用ソフトウェアが正しくインストールされているか、確認してください。

● 本製品の IP アドレスの設定は正しくできていますか？

本製品のIP アドレスのネットワークアドレスとサブネットマスクを、設定用パソコンと一致させてください。本製品の IP アドレスの設定方法については、「PART4 設定ユーティリティを見てみよう」「IP 設定」（P.38）を参照してください。

● プロキシサーバを使う設定になっていませんか？

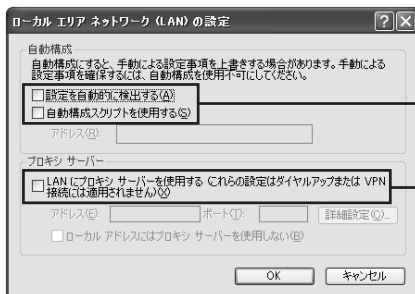
Webブラウザでプロキシサーバを使う設定になっていると、本製品の設定ユーティリティが表示されません。次の手順で、Web ブラウザでプロキシサーバを使用しない設定にしてください。

メモ　ここでは、Internet Explorer 6.0 の場合の設定方法を説明しています。

1 Internet Explorerを起動し、「ツール」－「インターネットオプション」をクリックします。

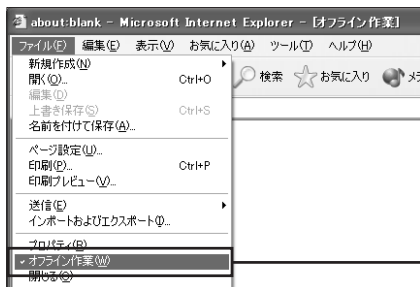
2 「インターネットオプション」画面が表示されたら「接続」タブをクリックします。

3 「LANの設定」ボタンをクリックします。

4 「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」画面で「設定を自動的に検出する」「自動構成スクリプトを使用する」「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックマークを外します。

5

6 「インターネットオプション」画面で「OK」ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。

● Web ブラウザが「オフライン作業」になっていませんか？

Web ブラウザを起動した際に、タイトルバーに「オフライン作業」と表示されている場合は、ネットワークに対して通信が行われていないため、本製品を正常に設定することができません。
メニュから「ファイル」－「オフライン作業」を選択し、チェックを外してください。

● どうしても無線で設定できないときは？

有線で接続できるパソコンがあれば、パソコンのLANポートと本製品のLANポートを添付のLANケーブルで接続して設定してください。
パソコンの TCP/IP の設定や Web ブラウザの設定は、無線で接続する場合と同じです。
有線で接続できるパソコンがないときは、本製品背面の RESET スイッチを使用して、工場出荷時の状態に戻してください。詳しくは、このPARTの「本製品を工場出荷時の状態に戻したい」(P.33)を参照してください。

■無線 LAN アダプタを取り付けたパソコンからネットワークに接続できない

●無線を利用した家電を使用していませんか？

2.4GHzの無線を使用した家電（液晶テレビやオーディオ機器など）は無線LANで使用される周波数に近いので、無線 LAN に影響を与えることがあります。

● 電波状態は問題ないですか？

本製品の使用環境によっては、「通信できない」、「通信速度が遅い」などの問題が発生します。
下記の表を参考にして使用環境を調査し、環境に問題がある場合には、本製品の設置場所を変更する、障害物を取り除く、無線 LAN 製品間の距離を短くするなどの対策を試してください。

	物質の種類	使用環境例
電波を通す物質	木材、ガラス	木の仕切り、ドア、木造二階建ての1階と2階、ガラス窓
電波を通さない物質	石、レンガ、セメント、コンクリート、鉄	石の壁、レンガの壁、セメントの床や壁、コンクリートの床や壁、鉄の仕切り、ドア、ユニットバス、鉄筋二階建ての1階と2階、防火ガラス

3

● 無線 LAN アダプタと本製品の無線設定はあっていますか？

無線 LAN アダプタの取扱説明書を参照して、次の設定を確認、再設定してください。

・通信モードが「Infrastructure」になっているか
・ESSID に本製品と同じ文字列が設定されているか
・WEP または WPA が設定されていないか
　無線 LAN アダプタ側に WEP または WPA が設定されている場合は、無線 LAN アダプタ側の設定を解除するか、本製品にも同じ WEP を設定してください。
・チャンネルの設定はあっているか

● パソコンのパワーマネジメント機能、サスペンド機能が動作していませんか？

パソコンのパワーマネージメント機能、サスペンド / レジューム機能の設定を解除してください。
設定方法についてはパソコンに添付の取扱説明書を参照してください。

● 本製品の LAN ポートに接続した機器は正しく動作していますか？

本製品前面の LAN LED や接続先機器の LINK LED が点灯しているか、確認してください。点灯していない場合は、本製品のLANポートに接続した機器が正しく動作していません。次の点を確認してください。

・接続先の機器（パソコンやハブ、ルータなど）の電源が入っているか
・LAN ケーブルが正しく接続されているか
・LAN ポートに接続した機器の設定は正しいか

■本製品のパスワードを忘れた

本製品を工場出荷時の状態に戻してください。パスワードがクリアされます。本製品を工場出荷時の状態に戻す方法は、この PART の「本製品を工場出荷時の状態に戻したい」（P.33）を参照してください。パスワードを設定したい場合は、この PART の「本製品のパスワードを変更したい」（P.30）を参照して、再設定してください。

注意! 本製品を工場出荷時の状態に戻すと、パスワードだけでなく、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいますので再度設定しなおしてください。

■ファームウェアの更新に失敗した

本製品を工場出荷時の状態に戻してから、再度、ファームウェアの更新を行ってください。
本製品を工場出荷時の状態に戻す方法は、この PART の「本製品を工場出荷時の状態に戻したい」（P.33）を参照してください。

注意! 本製品を工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定していた情報がすべて無効になります。再設定してください。

■パソコンのネットワーク設定を調べたい

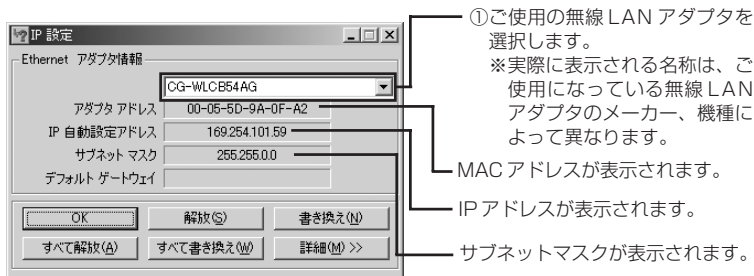
パソコンに設定されているIPアドレスやサブネットマスク、無線LANアダプタのMACアドレスを調べる場合は、次の方法で行ってください。

< Windows Me/98/95の場合>

1 「スタート」ボタン−「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

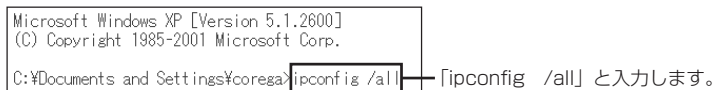
2 「名前」の欄に「winipcfg」と入力して、「OK」ボタンをクリックします。

3 パソコンで使用している無線LANアダプタを選択します。
パソコンのネットワーク設定が表示されます。

メモ ご使用の無線LANアダプタが表示されない場合は、パソコンや無線LANアダプタのメーカーなどにお問い合わせください。

正しく表示されない場合は、「解放」ボタンをクリックした後、「すべて書き換え」ボタンをクリックしてください。

< Windows XP/2000の場合>

1 「スタート」ボタン−「すべてのプログラム」(Windows 2000の場合は「プログラム」)−「アクセサリ」−「コマンドプロンプト」をクリックします。

2 キーボードから「ipconfig /all」と入力して、「Enter」キーを押します。

※画面例
「C:¥Documents and Settings¥corega」の部分は、パソコンの使用環境によって表示が異なります。

3

3　パソコンのネットワーク設定が表示されるので確認します。

正しく表示されない場合は、「ipconfig　/renew」と入力して、「Enter」キーを押します。

■本製品のパスワードを変更したい

本製品のパスワードは、次の手順で変更できます。

1　本製品の設定ユーティリティを開き、メニューバーの「詳細設定」をクリックします。画面左のメニュリストが表示されますので、「管理者設定」ー「パスワード」の順にクリックします。

メモ　パスワードには、15文字までの半角英数字、記号が使用できます。大文字/小文字が区別されますので注意してください。

2　本製品を再起動して設定を反映させてください。ユーティリティを開くとき、新しく設定したパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリックします。

メモ　入力したパスワードは、画面上では「＊」で表示されます。

■最新のファームウェアを入手して更新したい

本製品の機能強化のため、予告なくファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアはコレガのホームページ(http://www.corega.co.jp/)から入手してください。

注意!
・ファームウェアを更新する前に、本製品の設定内容をメモしておいてください。
・ファームウェアを更新中は、他の操作を行ったり、本製品の電源を切ったりしないでください。ファームウェアの更新に失敗したり、本製品の故障の原因となる場合があります。

ここでは例として「C:¥corega」(C ドライブの中の corega フォルダ内)に最新のファームウェアを保存した場合で説明します。

1 本製品の設定ユーティリティを開き、メニュバーの「詳細設定」をクリックします。

2 メニュリストの「メンテナンス」ー「ファームウェアの更新」の順にクリックします。

3 更新ファイル欄に直接入力するか、「参照」ボタンをクリックして最新のファームウェアの保存先を選択します。

4 以下のような表示が出たら「OK」ボタンをクリックします。

5 ファームウェアの更新が始まります。

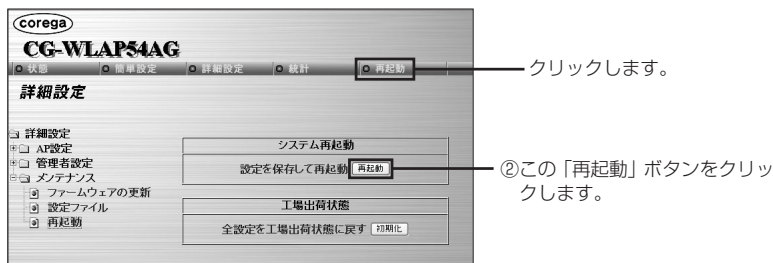
6 しばらくして次のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックして再起動をしてください。

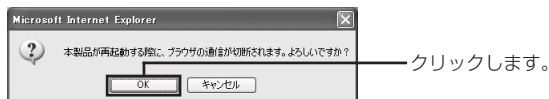
以上で、ファームウェアの更新は終了です。

3

■本製品を再起動したい

次の手順で、本製品を再起動することができます。「ファームウェアの更新」「工場出荷時の状態に戻す」とは異なりますのでご注意ください。

1 本製品の設定ユーティリティを開き、メニュバーの「再起動」をクリックします。または、「メンテナンス」ー「再起動」ボタンの順にクリックします。

2 「再起動」ボタンをクリックします。

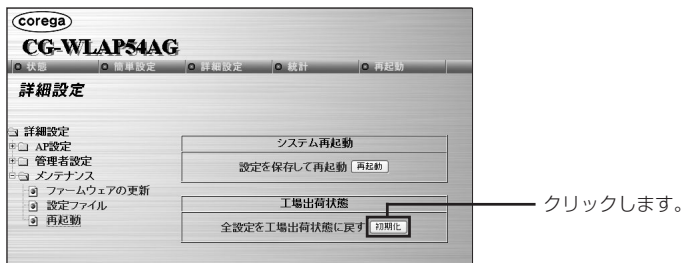
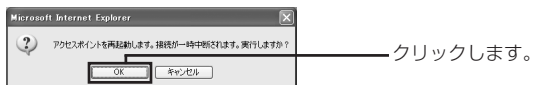
3 「本製品が再起動する際に、ブラウザの通信が切断されます。よろしいですか？」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

「アクセスポイントを再起動しています。10秒以内に画面が切り替わります。」と表示され、本製品が再起動します。

注意! 本製品の再起動中は、一時的に無線LANに接続できなくなります。

■本製品を工場出荷時の状態に戻したい

本製品を工場出荷時の状態に戻すと今まで設定していた情報がすべて無効になります。再度設定をし直してください。また、重要な設定をしている場合は、設定内容を書き残すなど、後で再設定できるように控えておくことをおすすめします。

工場出荷時の状態に戻すには、次の2つの方法があります。違いはありませんので、どちらを使ってもかまいません。

1 メニュリストから「メンテナンス」ー「再起動」の順にクリックします。
「工場出荷時状態」の「初期化」ボタンをクリックします。

2 「アクセスポイントを再起動します。接続が一時中断されます。実行しますか？」と表示されたら「OK」をクリックします。

＜RESETスイッチを使う＞

1 本製品の電源が入っている状態で、RESETスイッチを10秒以上押し続け、RESETスイッチを離します。
RESETスイッチはゼムクリップなど堅くて先の細いもので押してください。

2 LAN LEDのみ再点灯し、システムが起動します。

コレガのホームページの情報を活用する

コレガのホームページでは、お客様からのよくあるお問い合わせ情報やネットワークの一般知識を分かりやすく解説しているページを公開中です。困っていることを解決するヒントになります。

http://www.corega.co.jp

それでも解決しなければ、サポート窓口に問い合わせてみる

弊社サポートセンターへのお問い合わせ方法は、裏表紙の「製品に関するご質問は…」をご覧ください。

PART4 設定ユーティリティを見てみよう

本製品には、設定ユーティリティが内蔵されています。設定ユーティリティで 、セキュリティなど本製品の詳細な設定が行えます。

Web ブラウザで設定しよう

■設定ユーティリティを開く

本製品の設定ユーティリティは、Internet ExplorerなどのWebブラウザから起動します。詳しくは、「PART2 アクセスポイントの設定をする」「設定ユーティリティを開く」（P.19）を参照してください。

●本製品の設定ユーティリティ

はじめにこのメニューバーから設定したい項目を選択します。

●設定のしかた

各設定画面で設定を変更したら、「適用」ボタンをクリックします。

注意!
・設定ユーティリティの各設定画面を切り替えるときは、十分な時間間隔をおいてクリックしてください。短い間隔で設定画面を切り替えようとすると、誤動作の原因となります。
・設定画面が切り替わらないなど、設定途中で本製品にアクセスできなくなった場合は、背面のRESETスイッチを押して、工場出荷時に戻して設定しなおしてください。詳しくは「PART3 トラブルや疑問があったら」「本製品を工場出荷時の状態に戻したい」（P.33）を参照してください。

●設定ユーティリティを終了する

本製品の設定終了後、Web ブラウザを終了すると、設定ユーティリティを終了できます。

Web ブラウザでの設定項目について

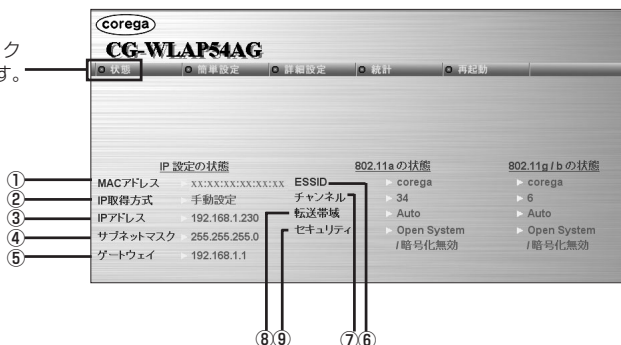
Web ブラウザでは、以下の設定ができます。

<メニュ名>	<おもな機能>
状態	設定ユーティリティ起動時の画面です。本製品の現在の設定値を確認できます。（P.36）
簡単設定	ESSID とチャンネル設定、WEP の暗号化設定を行います。（P.37）
詳細設定	本製品で無線LANに接続するためのいろいろな設定や、ファームウェアのアップデートを行います。（P.38 ～）
統計	本製品の現在のスループット値、送信量や受信量などを確認できます。（P.48）
再起動	パソコンの再起動を行います。（P.49）

メモ　次ページより、説明では表の入力例を使用した場合の画面例を掲載しています。実際にはご使用の環境に合った値を入力してください。

■状態

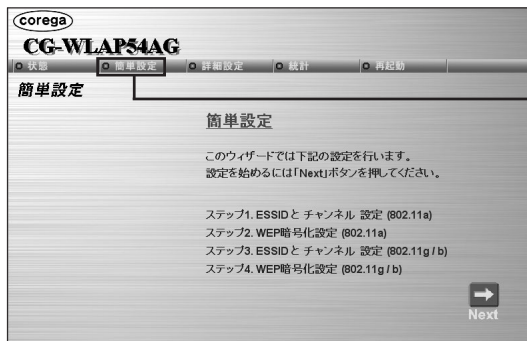
設定ユーティリティ起動時の画面です。本製品の現在の設定値が確認できます。

1 メニューバーから「状態」をクリックします。

	項目名	説明
IP設定	①MACアドレス	本製品のMACアドレスが表示されます。
	②IP取得方式	DHCP(自動取得)、手動取得(固定)のいずれかを表示します。工場出荷時は「手動設定」に設定されています。「IP設定」画面で設定します。(P.38)
	③IPアドレス	本製品に設定されているIPアドレスが表示されます。IPアドレスは「IP設定」画面で設定します(P.38)。
	④サブネットマスク	本製品に設定されているサブネットマスクが表示されます。
	⑤ゲートウェイ	使用しているネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを表示します。
無線設定	⑥ESSID	本製品に設定されているESSIDが表示されます。ESSIDは「簡単設定」画面で設定します(P.20)。
	⑦チャンネル	本製品の現在のチャンネルが表示されます。チャンネルは「簡単設定」画面で設定します。詳しくは「PART2 アクセスポイントの設定をする」「基本的な設定をする(ESSIDの変更)」(P.20)をご覧ください。
	⑧転送帯域	パソコン(無線LANアダプタ)と本製品が通信するときの本製品の転送速度です。 ※工場出荷時は「Auto」に設定されています。通常は変更する必要はありません。
	⑨セキュリティ	本製品の現在の認証方式を表示します。

■簡単設定

ESSID とチャンネル設定を行います。

1 メニュボタンの「簡単設定」をクリックした後、「Next」をクリックして次に進みます。
ここでは、ESSIDやチャンネル設定、WEP暗号化設定などを行います。
設定については「PART2 アクセスポイントの設定をする」「基本的な設定をする（ESSIDの変更）」（P.20）をご覧ください。

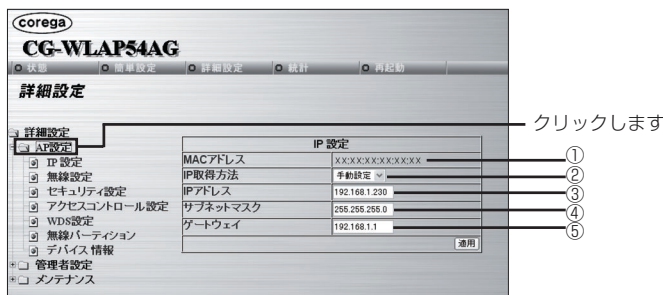
4

■詳細設定

< AP設定>

本製品のいろいろな設定やファームウェアのアップデートを行います。

● IP設定

本製品のIPアドレスやサブネットマスクなどの設定を行います。

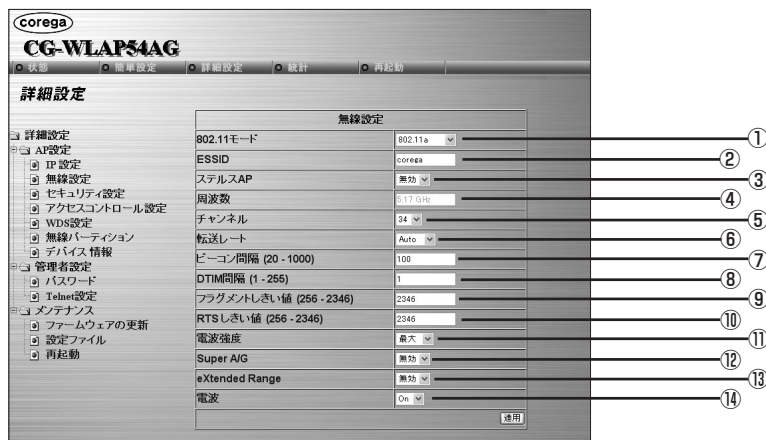
1 「詳細設定」メニュの「AP設定」−「IP設定」をクリックします。

項目名	入力例	説明
①MACアドレス	−	本製品MACアドレスが表示されます。
②IP取得方法	手動設定	本製品のIP取得方法を選択します。 ・手動設定:「IPアドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」を手動で設定します。 ・DHCP:IPアドレスを自動的に取得します。 ※工場出荷時は「手動設定」に設定されています。
③IPアドレス	192.168.1.230	本製品のIPアドレスを入力します。 ※工場出荷時は「192.168.1.230」に設定されています。
④サブネットマスク	255.255.255.0	本製品が使用しているネットワークのサブネットマスクを選択してください。 ※工場出荷時は「255.255.255.0」に設定されています。
⑤ゲートウェイ	192.168.1.1	使用しているネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを設定します。通常は、他のネットワークとの接続に使用しているルータのLAN側IPアドレスとなります。 ※同一LAN内のパソコンからだけ本製品を使用する場合は、変更する必要はありません。 ※工場出荷時は「192.168.1.1」に設定されています。

2 設定後、「適用」ボタンをクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

●無線設定

本製品の、より高度な設定を行います。

注意! 各設定項目について十分に理解しており、かつ変更の必要がある場合にだけ、変更を行ってください。不用意に変更を行うと、通信ができなくなる場合があります。

1 「詳細設定」メニュの「AP設定」から「無線設定」をクリックします。

2 必要に応じて以下の設定を行います。

項目名	入力例	説明
①802.11モード	802.11a	本製品に接続できる無線LANアダプタの通信規格を設定します。 IEEE802.11aかIEEE802.11b/gを選択します。
②ESSID	corega	無線LANに接続する機器を識別する名前です。接続する全てのパソコン(無線LANアダプタ)に同じ名前を設定してください。 詳しくは、「PART2アクセスポイントの設定をする」「基本的な設定をする(ESSIDの変更)」(P.20)を参照してください。 ※工場出荷時は「corega」に設定されています。
③ステルスAP	—	「有効」に設定すると無線LANアダプタを持つパソコンから本製品のESSIDを検索されないようにできます。またESSIDを「ANY」や空白にしているパソコン(無線LANアダプタ)からのアクセスを拒否することができます。
④周波数	—	チャンネルで設定した周波数を表示します。

4

項目名	入力例	説明
⑤チャンネル	34	本製品が使用するチャンネルを設定します。「802.11a」の時は、34、38、42、46のいずれかを、「802.11g/b」の時は1～13の間で任意の値に変更してください。電波の届く範囲に他のアクセスポイントが存在する場合は、混信の恐れがあるので、5チャンネル以上離れたチャンネルを設定してください。 ※チャンネルによって通信に使用する電波の周波数が異なります。 ※工場出荷時のチャンネルは「802.11a」の時は、34、「802.11g/b」の時は「6」に設定されています。
⑥転送レート	―	パソコン(無線LANアダプタ)と本製品が通信するときの本製品の転送速度が表示されます。
⑦ビーコン間隔	100	アクセスポイントが常に発生している、アクセスポイント情報の入ったショートパケット(ビーコン)の送信間隔を設定します。 ※工場出荷時は「100」に設定されています。通常は変更する必要はありません。
⑧DTIM間隔	―	DTIM(配信トラフィック・インディケータ・メッセージ)値を設定します。 ※工場出荷時は「1」に設定されています。通常は変更する必要はありません。
⑨フラグメントしきい値	2346	有線LANから受信したパケットを無線LAN側に転送する際に分割するときのしきい値を設定します。ここで設定した値を超えるパケットが分割されます。 ※パケット長は、偶数で指定してください。 ※工場出荷時は「2346」に設定されています。通常は変更する必要はありません。
⑩RTSしきい値	2347	有線LANから受信したパケットを無線LAN側に転送する際にRTS(送信要求)パケットが送信されるしきい値を設定します。ここで設定した値を超えるパケットを送信する場合にRTS(送信要求)パケットが送られます。 ※工場出荷時は「2347」に設定されています。通常は変更する必要はありません。
⑪電波強度	最大	本製品の電波出力の強度を設定します。
⑫Superモード	無効	「有効」に設定すると「Super A/G」モードを搭載した無線機器と通信した時、バースト転送およびデータ圧縮を行います。
⑬eXtended Renge	無効	「有効」に設定すると「eXtended Range」に対応した無線機器と通信した時、通信距離を延ばす(最大で2倍)ことができます。
⑬電波	On	本製品が通信可能の状態であるかを表示します。

3　設定後、「適用」ボタンをクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

●セキュリティ設定

本製品のWEPやWPAなどの設定を行います。

注意! 無線LANでは電波を使って通信を行うため、電波が届く範囲であれば、通信内容を傍受されたり、不正侵入されたりする恐れがあります。このようなことがないようにWEPやWPA設定を行うことをおすすめします。

1 「詳細設定」メニュの「無線設定」から「セキュリティ設定」をクリックします。

項目名	説明
①802.11モード	本製品に接続している無線LANアダプタの通信規格を設定します。
②認証方式	WEPを使用したい時は「Open System」または「Shared key」を選択し、WPAを使用したいときは「WPA-PSK（パーソナル）」または「WPA-EAP（エンタープライズ）」を選択します。 ※工場出荷時は「Open System」に設定されています。
③WPA共有キー	①でPSKを選択した場合に使用します。任意の暗号キーを入力してください。
④暗号方式	本製品のWPAの暗号方式を設定します。 Auto:AES、TKIPの両方で通信できるよう設定します。 AES:米国商務省が暗号化標準技術として承認した暗号規格。TKIPより強固な暗号化を施すことが可能です。 TKIP:一定時間ごとに暗号キーを変更する暗号化プロトコルです。
⑤更新間隔	WPA暗号キーを更新する間隔を秒単位で指定します。
⑥WEP暗号化	WEPを使用したい時は「有効」を選択します。 ※工場出荷時は「無効」に設定されています。
⑦WEP暗号強度	64Bits、128Bits、152Bitsのいずれかを選択できます。
⑧WEPキー	WEPキー（暗号キー）を入力し、デフォルトキー1～4を選択します。 入力したWEPキーは画面上では「*」で表示されます。

注意! ・本製品の工場出荷時は、WEP および WPA は設定されていません。
・本製品にWEPを設定した場合、本製品に無線接続するすべてのパソコンの無線LANアダプタに、本製品に設定したのと同じ暗号キーを設定する必要があります。

2 設定後､｢適用｣ボタンをクリックし､本製品を再起動して設定を反映させます。

● WEP を設定する

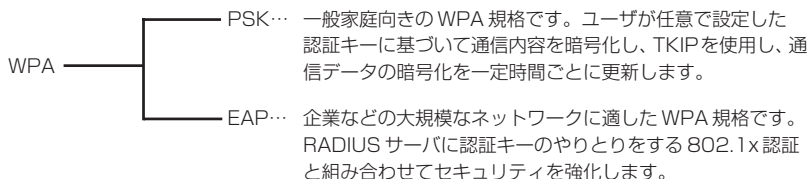
WEP キーは、通信内容（データ）を保護するための暗号です。WEP によって通信内容を暗号化すると、仮に通信データを傍受された場合でも、通信内容の復元を容易に行うことができなくなります。本製品は、「64Bits」「128Bits」「152Bits」に対応しています。

・64 Bits：16 進数で（0 ～ 9、a ～ f）10 桁の暗号キーを利用可能
・128 Bits： 16 進数で（0 ～ 9、a ～ f）26 桁の暗号キーを利用可能
・152 Bits： 16 進数で（0 ～ 9、a ～ f）32 桁の暗号キーを利用可能

暗号キーの桁の多い WEP を利用する方が安全性が高くなります。

● WPA を設定する

メモ WPA は、暗号プロトコル（TKIP）を採用したセキュリティ規格です。一定時間ごとに通信内容の暗号を更新するので WEP より解読されにくくなります。

WPA には「PSK（パーソナル）」「EAP（エンタープライズ）」の二種類があります。

｢WPA-EAP(エンタープライズ)｣を選択する場合は､｢RADIUSサーバ｣｢RADIUSで使用するポート｣｢共有シークレット｣の欄はネットワーク管理者などに確認の上､入力してください。入力した設定内容は､再起動して本製品に反映させてください。

メモ RADIUSサーバとは､企業などのローカル環境でユーザ認証をコントロールするサーバのことです。

●アクセスコントロール設定

MAC アドレスフィルタリングなどの設定を行います。

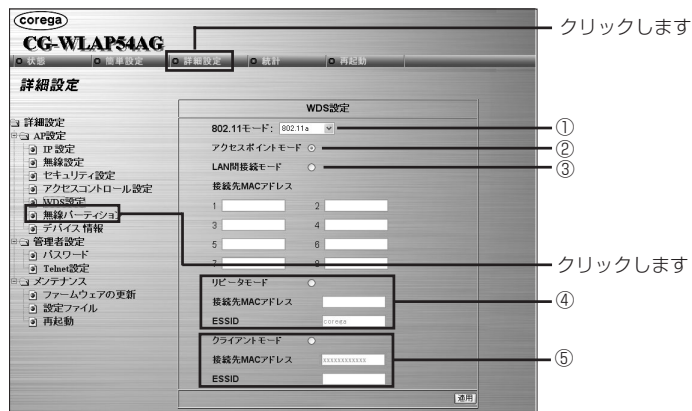
1 「詳細設定」メニューの「AP設定」から「アクセスコントロール設定」をクリックします。

項目名	説明
①802.11モード	本製品に接続している無線LANアダプタの通信規格を設定します。
②コントロール	アクセスコントロールを設定することができます。 ＜無効＞ MACアドレスフィルタリングを使用しません。 ＜リストに登録したクライアントのみ接続許可＞ アクセスコントロールリストに登録されているMACアドレスのクライアントのみ接続できます。 ＜リストに登録したクライアントのみ接続禁止＞ アクセスコントロールリストに登録されているMACアドレスのクライアントのみ接続を拒否します。
③MACアドレス	本製品への接続を許可するパソコンの無線LANアダプタのMACアドレスを入力します。MACアドレスは、0〜9、A〜Fの半角文字で入力してください。「xx:xx:xx:xx:xx:xx」とコロンで区切って入力してください。

2 設定後、「適用」ボタンをクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

● WDS 設定

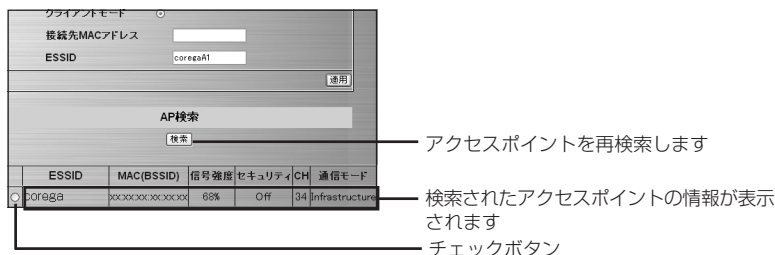
本製品の接続モード（WDS）などの設定を行います。

1　「詳細設定」メニュの「AP設定」から「WDS設定」をクリックします。

項目名	説明
①802.11モード	本製品に接続している無線LANアダプタの通信規格を設定します。
②アクセスポイントモード	本製品と無線LANアダプタを無線で通信します。 ※無線LANアダプタはインフラストラクチャー（Infrastructure）モードに設定してください。
③LAN間接続モード	アクセスポイントモードで設定した本製品同士を無線で通信させることができます。接続先の本製品のMACアドレスを入力してください。 ※接続可能台数は最高8台までです。
④リピータモード	電波が届きにくい場合でも、「リピータモード」に設定した本製品を設置して電波を中継させることで、通信ができます。接続先のMACアドレスを入力してください。
⑤クライアントモード	本製品をパソコンに接続して、無線クライアントとして使用することができます。接続先のESSIDを入力してください。

注意!
・MACアドレスは有線、無線を含めたすべての経路でループにならないよう登録してください。
・WDS 設定を有効にすると「802.11a」と「802.11g/b」の間で通信はできません。

2　設定後、「適用」ボタンをクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

● AP 検索をする

WDS 設定で「リピータモード」または「クライアントモード」を選択すると、「WDS 設定」の下に「AP検索」が表示されます。検索されているアクセスポイントのチェックボタンをクリックすると、「選択した接続先の ESSID を入力します」とメッセージが表示されるので「OK」をクリックします。「リピータモード」または「クライアントモード」の「ESSID」および「MAC アドレス」が自動的に入力されます。「適用」をクリックすると入力内容が反映されます。

●無線パーティション

1 メニュバーから「詳細設定」―「AP設定」―「無線パーティション」をクリックします。
許可したい項目にはチェックを入れ、「適用」をクリックします。

項目名	説明
①802.11モード	本製品に接続している無線LANアダプタの通信規格を設定します。
②無線クライアント同士の通信	チェックをつけると本製品に接続している無線LANアダプタ間の通信を許可します。
③有線LANから無線へのアクセス	チェックをつけると本製品に接続している有線LANから無線LANアダプター間の通信を許可します。
④802.11aと802.11g/b間の通信	チェックをつけると802.11aと802.11g/b間の通信を許可します。 ※工場出荷時は有効です。 ※WDS設定が有効の場合は表示されません。

2 設定後、「適用」ボタンをクリックし、本製品を再起動して設定を反映させせます。

4

●デバイス情報

本製品のシステム名の変更やシステム情報を表示します。

1 メニュリストから「詳細設定」ー「AP設定」ー「デバイス情報」の順にクリックします。

2 「システム名」を入力した後、「適用」をクリックします。

3 設定後、「適用」ボタンをクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

＜管理者設定＞

パスワードやタイムアウトなどの設定を行います。

●パスワード

パスワードの設定を変更することができます。設定方法については、P.30 をご覧ください。

● Telnet 設定

設定すると Telnet を使って本製品の設定を行うことができます。

1 「詳細設定」メニュの「管理者設定」から「Telnet設定」をクリックします。

項目名	説明
①Telnet	チェックをつけるとTelnetで本製品の設定を行うことができます。
②タイムアウト時間	Telnet接続での通信待機時間を設定することができます。 設定された時間でTelnet接続が切断されます。

2 設定後、「適用」ボタンをクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

＜メンテナンス＞

ファームウェアのアップデート、設定内容の保存、再起動を行うことができます。

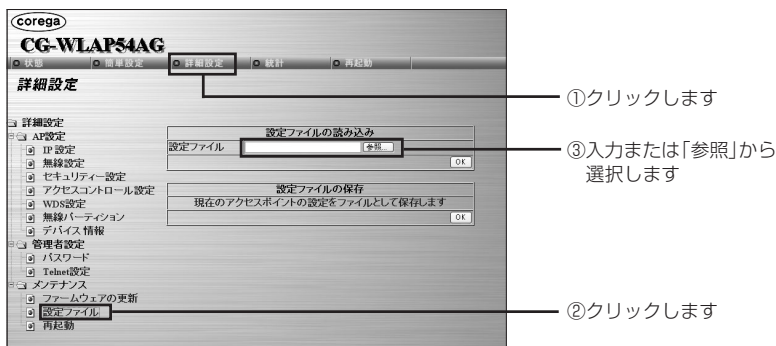
●ファームウェアの更新

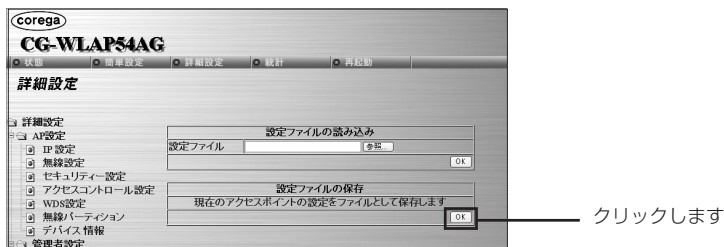
ファームウェアの更新を行うことができます。操作方法については、P.31 をご覧ください。

●設定ファイル

現在のアクセスポイントの設定を保存したり、保存された設定ファイルの読み込みを行います。

設定ファイルの読み込み

1　メニュリストから「詳細設定」ー「メンテナンス」ー「設定ファイル」の順にクリックします。読み込みたい設定ファイルを入力するか、または「参照」から選択します。

設定ファイルの保存

1　メニュリストから「詳細設定」ー「メンテナンス」「設定ファイルの保存」の「OK」ボタンをクリックします。

●再起動

再起動をするとき、または工場出荷時に戻したいときにクリックします。

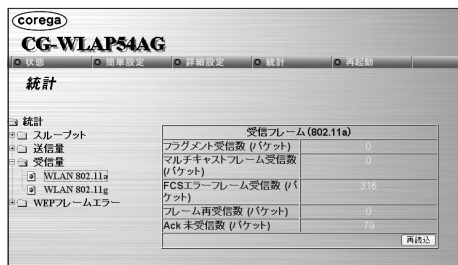
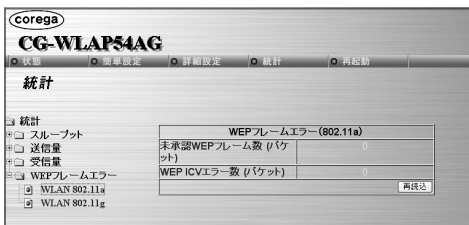
詳しくは「PART3 トラブルや疑問があったら」「本製品を再起動したい」（P.32）をご覧ください。

■統計

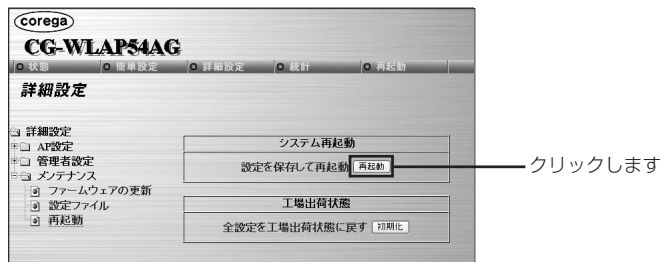
本製品のスループット値や送信量、受信量、WEP フレームエラーなどの設定を表示します。「再読込」をクリックすると、内容が更新されます。

1 スループット値を表示したいときは、メニュリストの「統計」から「スループット」をクリックします。

2 送信量を表示したいときは、メニュリストの「統計」の「送信量」から、設定している規格をクリックします。

3 受信量を表示したいときは、メニュリストの「統計」の「受信量」から、設定している規格をクリックします。

4 WEPフレームエラー値を表示したいときは、メニュリストの「統計」から「WEPフレームエラー」をクリックします。

■再起動

本製品を再起動したい時にクリックします。詳しくは「PART3 トラブルや疑問があったら」「本製品を再起動したい」（P.32）または「本製品を工場出荷時の状態に戻したい」（P.33）

4

製品仕様

製品名	CG-WLAP54AG
無線部	
サポート規格	(国際規格)IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11b、IEEE802.11 (国内規格)ARIB STD-T66/RCR STD-33/ARIB STD-T71
アンテナ形式	ダイポールアンテナ(ダイバーシティ)
通信速度	IEEE802.11a/g:6/9/12/18/24/36/48/54Mbps(Auto select) IEEE802.11b:1/2/5.5/11Mbps(Auto select)
通信モード	Infrastructure/WDS
WEP	64Bits/128Bits/152Bits
ローミング	IEEE802.11準拠
周波数帯域	IEEE802.11a:5.170〜5.230GHz IEEE802.11g/b:2.412〜2.472GHz
チャンネル数	IEEE802.11a:34、38、42、46の全4ch　IEEE802.11g/b:1〜13ch
電源部	
本体	
入力電圧	DC5V
消費電力	9.0W(最大)
消費電流	1.8A(最大)
ACアダプタ	
定格出力電圧	DC5V
環境条件	
保管時温度/湿度	−20℃〜60℃/95%以下(ただし結露なきこと)
動作時温度/湿度	0℃〜40℃/90%以下(ただし結露なきこと)
外形寸法	190(W)×131(D)×32(H)mm(アンテナを含まず)
重量	300g(本体のみ、ACアダプタを含まず)

工場出荷時の設定

無線 LAN 機能の工場出荷時の設定です。

項目名	設定値
デバイス名	CG-WLAP54AG
パスワード	（なし）
IP取得方式	手動設定
IPアドレス	192.168.1.230
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.1

802.11モードが802.11aの場合	
ESSID	corega
チャンネル	34
暗号化(WEP)	OFF
認証方式	Open System

802.11モードが802.11g/bの場合	
ESSID	corega
チャンネル	6
暗号化(WEP)	OFF
認証方式	Open System

MAC アドレスについて

本製品のMAC アドレスは本体底面に記入されています。MAC アドレスは、下記の6 バイト（48 ビット）によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザが変更することはできません。「PART1 まず準備が必要」「各部の名称と機能を覚えよう」「本体底面」（P.13）を参照してください。

付録

保証と修理について

■保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトの上必要事項を記入したものと製品保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシート等可）を添付し、製品（添付品一式と共に）をご購入された販売店へお持ちください。修理をご依頼する際は、以下の点にご注意ください。

※弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

- 修理期間中の代替機等は弊社では用意しておりませんので、予めご了承ください。
- 保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- 製品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- 修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入の販売店へお持ちください。下記ホームページに、有償修理価格が記載されておりますので、ご覧ください。

http://www.corega.co.jp/repair/

おことわり

・ 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・ 本製品の仕様またはそのご使用により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

2004年3月 Rev.A　初版
2005年1月 Rev.C　第三版

弊社ホームページのご案内

弊社ホームページでは、各種商品の最新の情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本製品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://www.corega.co.jp/

製品に関するご質問は・・・

製品のご質問はコレガサポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には弊社ホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかでお問い合わせください。

■お問い合わせ先

※製品のお持込によるサポートは受け付けておりません。

※ FAX で詳細な情報を送付いただくと、より早く問題を解決することができます。

・Mail サポート　：下記の URL からユーザ登録した後、お問い合わせください。

http://www.corega.co.jp/faq

・FAX/TEL　：FAX 045-476-6294　TEL 03-3797-1085

・受付時間　：10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00　月～金（祝・祭日を除く）

・必要事項　：ご質問の前に、あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

- 製品名
- シリアル番号　(S/N)、リビジョンコード (Rev.)
- お名前、フリガナ
- 連絡先電話番号、FAX 番号
- 購入店
- 購入日付
- お使いのパソコンの機種
- OS
- お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）
- ネットワーク構成